

総合的な学習の時間指導案

日 時 平成24年1月16日(水) 5校時

学 級 名護市立安和小学校 第6学年 1組

男子 8名 女子 7名 計15名

授業者 知念 巧

1 単元名 「勝山の宝でむらおこし」

2 単元目標

- (1) 地域に愛着を持ち、地域の人とのふれあいを通してコミュニケーション能力を身につける。
- (2) 環境を多面的に捉え、解決方法を自ら考え、課題を主体的に解決できる力を身につける。
- (3) 地域の産業について調べ、地域の特色を知り、課題を追究する力を育てる。

3 単元について

(1) 教材観

今回の改訂で総合的な学習の時間のねらいが明確となり、他者と協同して課題を解決する協同的な学習や体験活動、言語活動の充実が求められている。そこで、本単元では、地域の体験活動を通して課題を見付け追究していく資質や能力を育て、自分にできることを考えさせたい。また、地域のよさや課題に関して追究することで、児童に社会参画の態度を育て、地域への愛着や誇りをもたせたいと考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、これまでに育てたシークワサーでゼリーを作ったり、さとうきびから黒糖を作り出す体験をしたり、地域の素材を活用して学習してきた。ものづくりや作業的な活動においては、男女仲良く協同で取り組むことができる。本単元の導入において、児童に「わたしたちの地域の宝」について尋ねたところ、山や海、シークワサーなどの自然に関する項目と、ウシデークや豊年祭、エイサーなどの伝統文化に関する項目を挙げていた。また、これらは自分たちにとって大切なものであり、多くの人たちに知ってもらいたいという気持ちがワークシートの感想から見られた。一方で、「こんなにたくさんあるとは知らなかった。」「わからないこともあるので調べてみたい。」という感想から、児童が地域の特色について多くのことを知っておらず、これまでの地域学習が計画的・縦断的な取り組みとして不十分だったと考える。そこで、本単元では人々や社会、自然とのかかわりを通して、自己との関係や結び付きを考え、そこから生起する問題のよりよい解決を目指した自己の生き方を育む必要があると考える。

(3) 指導観

本単元では、児童が興味関心を持ち、自ら課題を見つけ解決しようとする課題発見・解決能力が育まれるよう、地域の人々と交流し児童相互が協同して課題を解決する活動や、ワークシートを活用して、課題設定や情報の整理・分析を行い、課題追究の見通しをもてる学習活動が展開できるようにしたい。

他者との協同的な活動においては、山羊の飼育体験を行い山羊と携わる人々とのかかわりを図りながら、児童相互で多様な考え方や意見を交流し合う協同的な活動を通して、課題を見つけ見通しや計画をもって追究することで課題発見・解決能力が育まれると考える。

ワークシートにおいては、課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現の探究的な学習の過程で児童の思考、整理、振り返りなどに活用する。例えば、課題設定の場において、気づきや疑問を類型化させて課題を見出し、テーマとの整合性や実現可能かどうかを話し合い検討させる。また整理・分析の場において、課題の関連性や関係性をまとめてウェビングマップで可視化して構造的にまとめることにより、地域との因果関係を導きだして課題追究の見通しをもつことができると考える。

4 評価について

本研究における評価は、学習指導要領に示された「学習方法に関すること」、「自分に自身に関すること」、「他者や社会とのかかわりに関すること」及びその具体として「課題設定の力」、「課題解決の

力」、「意思決定・行動力」、「コミュニケーションの力」を評価の観点とした。

評価の 観点	学習方法に関すること		自分自身 に関すること	他者や社会との かかわりに関すること
	課題設定の力	課題解決の力	意思決定・行動力	コミュニケーションの力
単元の 評価 規準	①体験活動を通して生じた気づきや疑問を解決すべき課題を設定している。 ②K J 法的な手法を使って課題を明確にし、追究の見通しをもっている。	①ウェビングを使って学習活動を構想し解決の見通しをもっている。 ②互いの考えを比較したり関連付けたりしながらより適切な解決策を見出している。	①地域と自分とのかかわりを基に、地域に対する思いを明らかにしている。 ②地域に貢献できる活動を考え、力を合わせて実行している。	①地域の人とすすんでかかわり、自分の思いを伝えている。 ②体験活動を通して生じた様々な課題を解決するために、他の児童や地域の方、専門家などの考えや意見、アドバイスなどを積極的に取り入れたり参考にしたりしている。

5 指導計画（16+14時間）

過程	時間	学習活動	○指導の留意点 ◇学習活動に即した評価規準	評価の観点 (評価方法)
課題設定	1	○オリエンテーション (ワークシート1、2) ・地域の宝について考える。	○ワークシートに出し合った考えを整理させ、単元のテーマを決めさせる。	課題設定の力① (行動観察・発言) (ワークシート) コミュニケーションの力① (行動観察・発言)
	2	○「ぐしけんファーム」 (ワークシート3) 飼育体験 ・山羊の飼育を体験する。 (エサやり、除糞、搾乳) ・気づいたことや疑問に思ったことを書く。	◇興味を持って体験活動を行うことができる。 ◇体験を通じて課題をもつことができる。 ○体験ごとにワークシートへ記述させる。 ◇課題の解決に向けて地域の活動に参加することができる。	
	1	○【本時1】 (ワークシート4) 課題を設定しよう ・体験から課題を見出し設定する。 ・追究したい課題の見通しをもつ。	○気づきや疑問を付箋紙に記述させ、可視化・共有化して課題を明確にさせる。 ◇課題を共有化・焦点化して、追究したい課題を見出すことができる。	
情報収集	1	○学習計画を立てよう (ワークシート5) ・これから調べていく計画を立てる。	○課題ごとにグループを作り計画を立てさせる。 ◇課題の見通しをもった計画を立てることができる。	課題設定の力② (行動観察・発言) (ワークシート) 課題解決の力① (行動観察・発言) コミュニケーションの力② (行動観察・発言) 意思決定・行動力① (ワークシート)
	2	○取材の計画を立てよう (ワークシート6、7) ・下調べや面会の予約、体験や見学インタビューの準備をする。	○いつ、どんな方法で調べるか計画を立てさせる。 ◇課題を追究するための方法を知り取り組むことができる。 (国語科との関連)	
	4	○取材をしよう (ワークシート8、9、10) ・探究活動(体験、見学、インタビューなど)	○取材してわかったことや気づいたことをワークシートに書かせる。 ◇課題について情報を収集することができる。	
整理・分析	2	○【本時2】 取材したことを整理しよう (ワークシート11、12) ・新たな課題と解決の見通しをもつ。	○各々調べたことをウェビングマップに載せ共有し構造化させて新たな課題と解決の見通しをもたせる。 ◇情報の中から必要な内容を整理・分析することができる。 (国語科との関連)	課題設定の力② 課題解決の力① 課題解決の力② (行動観察・発言) (ワークシート) コミュニケーションの力② (行動観察・発言) 意思決定・行動力① (学習記録、発表作品) コミュニケーションの力② (行動観察・発言)
	2	○中間発表会の準備をしよう (ワークシート13、14) ・中間発表会の準備をする。	○これまでにわかったことを発表するための準備をさせる。 ◇気づきや考えを文章で表現して整理することができる。 (国語科との関連)	
	1	○中間発表会・検討会 (ワークシート15) ※(ここまで検証授業とする)	◇友達と交流し、気づいたことなど新たな情報を整理し、自己の考えと比較したり関連させたりすることができる。 ◇活動を振り返り、自分の考えを整理することができる。	
課題設定	1	○地域について考えよう (ワークシート16) ・地域のよさや課題を見いだす。	○地域のよさや課題などを調べたことから見付けさせる。 ◇これまでの学習とテーマとの関連や関係について考えることができる。	課題設定の力② (行動観察・発言) (ワークシート) 課題解決の力② (ワークシート) 意思決定・行動力② コミュニケーションの力② 課題設定の力② (行動観察・発言) (ワークシート)
	2	○学習計画を立てよう	◇課題の見通しをもった計画を立てることができる。	
	2	○取材の計画を立てよう (ワークシート17) ・下調べやアポイントメント、体験や見学、インタビューの準備をする。	○いつ、どんな方法で調べるか計画を立てさせる。 ◇課題を追究するための方法を知り取り組むことができる。 (国語科との関連)	
整理・分析	4	○取材をしよう (ワークシート18) ・探究活動を行う。	○取材してわかったことや気づいたことをワークシートに書かせる。 ◇課題について情報を収集することができる。	意思決定・行動力② コミュニケーションの力② 課題設定の力② (行動観察・発言) (ワークシート)
	2	○取材したことを整理しよう (ワークシート19) ・ウェビングマップで可視化する。	○調べたことをウェビングマップに載せて整理し、構造化させて全体で把握させる。	
	3	○報告書にまとめよう ・壁新聞、ポスターなど	○これまでに知り得た情報をまとめさせる。 ◇情報の中から必要な内容を整理・分析することができる。 (国語科との関連)	
まとめ・表現		○「シークワサー花香り祭」で調べ	◇学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かすこ	意思決定・行動力① コミュニケーションの力② (学習記録、発表作品)

	たことを発表しよう (ワークシート 20)	とができる。	意思決定・行動力② コミュニケーションの力① (行動観察・発言)
	・活動の取り組みを地域の人や保護者に伝える。	◇相手や目的に応じて、わかりやすくまとめ、表現することができる。(国語科との関連) ◇地域の活動に参加し地域社会に貢献する喜びを実感することができる。	

6 本時の学習

(1) 小単元名 「取材したことを整理しよう」

(2) 本時の目標

取材した情報の中から必要な内容を整理・分析することができる。

(3) 授業仮説

整理・分析の場において、見学やインタビューで知り得た情報を課題ごとに分類・整理することにより、多様な見方や考え方をもちつことができ、課題追究への見通しをもって伝えたい内容を明らかにすることができるであろう。

(4) 準備

模造紙、付箋紙、色画用紙、油性ペン、マグネット、提示カード、ワークシート

(5) 本時の展開

過程	学習活動	○指導の留意点 (評価方法)
導入	1 前時の振り返り ・本時の学習を説明する。 ・前回に書いた付箋を用意する。	○付箋紙に書き出した調べてわかったことを振り返らせ、本時の学習の見通しをもたせる。
展開	2 整理・分析 ・調べてわかったことを課題ごとに各グループで分類し整理する。 ・調べてわかったことを分類ごと色画用紙に書く。 ・山羊について一番伝えたいことは何か考える。 ・これから調べてみたい新たな課題を考える。	○前回の分類の仕方を想起させ、作業時間の見通しをもたせるためにタイマーを用意する。 ○スムーズに分類・整理できるよう手順を確認しておく。 ○調べてわかったことを互いに比較し合いながら整理して焦点化させる。 ○情報の量だけでなく情報の質にも着目させる。 ○これまでの活動を載せたウェビングマップに調べてわかったことを色画用紙に貼り付けて再構成し、伝えたい内容を明らかにさせる。 (行動観察・発言) ○テーマとの整合性などに留意しながら話し合わせ、課題を吟味させる。
まとめ	3 本時をまとめる ・ワークシートに本時の感想を書いて発表する。	○感想を3名発表させて友だちの感想から、これからの追究の見通しをもたせる。 (行動観察・発言、ワークシート 12)

(6) 板書計画

1/16(水) 取材したことを整理しよう

めあて 「調べてわかったことを整理して、これからの学習の見通しをもとう」

